

当院の CT 検査室紹介

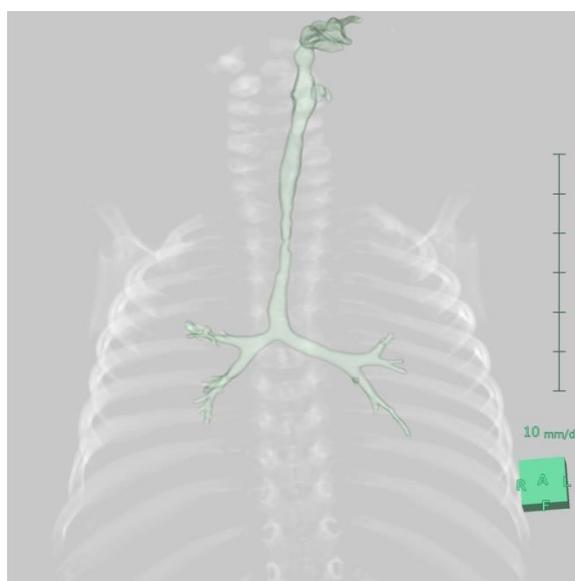
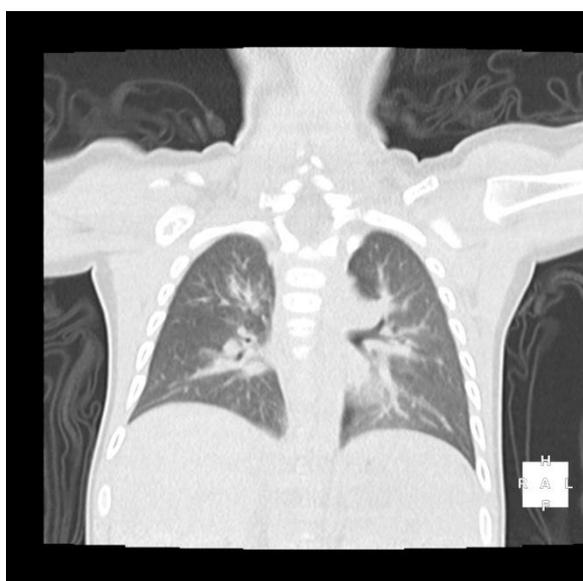
天使病院 放射線科 木村真也

メルマガをごらんの皆様はじめまして、お仕事お疲れ様です。天使病院の木村というものです。

当院では13年間大切に使用していたAquilion 64からこの度CTの更新となり、今年の3月末日からAquilion ONE Natureが稼働いたしました。

今回の装置ではFIRSTとAiICEの再構成が可能となり画質を落とさず、被ばく低減ができると期待しております。

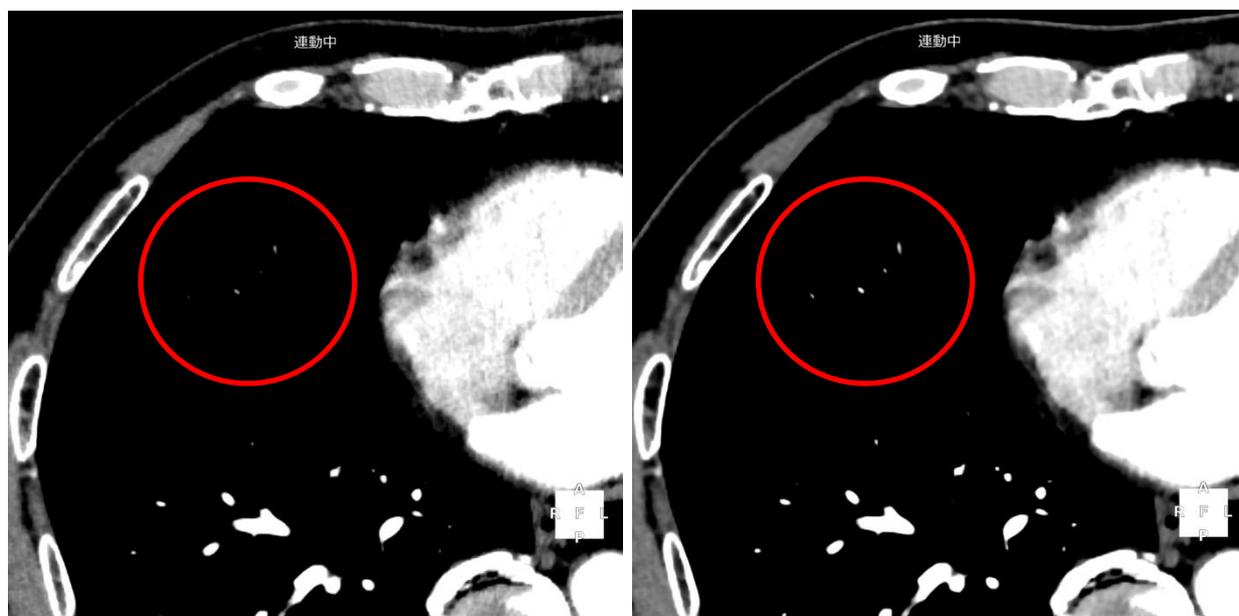
当院の特徴としてはNICUをはじめ小児や周産期領域に力を入れております。小児科領域は被ばくの面では特に気をつかうところであり、体幹部においてAiICEでの再構成とVolume Scanでの撮影時間の短縮によって、被ばく低減が可能となりました。そして、Volume Scanを行うことにより、タイミングさえ合えば、モーションアーチファクトの無い画像が得られます。以前の装置で苦しんでいたお子様の動きとの戦いにそろそろ終止符を打つことができそうです。



6M 気管軟化症疑い 胸部 Volume Scan

AiICEの現在までの使用経験としては、基礎検討等は行っていませんが、FIRST同様にノイズ低減と空間分解能の向上、末梢血管の描出能が高いような印象を受けます。再構成時間についてですが、640枚（1Volume分）の画像を再構成開始してからキューがなくなるまでの時間を計ってみたところ、FIRSTで4

分 34 秒、AiCE で 36 秒と圧倒的に AiCE の方が早いことがわかりました。
ただ残念な点もあり、現状スライス厚 0.5mm のボリュームデータにしか使用
できないので、ルーチン検査に使用するとするとシリーズの順番などで一時間
加えないといけない様な状態です。



後期動脈相時の胸部末梢血管
左 : AIDR 3D 右 : AiCE

以前の装置は逐次近似応用再構成もなく、回転速度も最速で 0.4 となっていた
ので、冠動脈の撮影にも苦勞しておりました。そこからの今回の装置となった
ので、新しくできる検査であったり、被ばく低減など検討すべきことはたく
さんあるので一つずつクリアをしていって検査の幅を広げ、質を向上してい
きたいと思っております。

まだ稼働して 1 ヶ月程で正直これまで行ってきた検査を普通にこなしながら、
余裕のあるときに新しいことに挑戦していくというところなので、あまり情報
を発信できないのが残念ですが、これからチャンスがあれば発信していきたい
と思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

当院の CT(AiCE など)でなにか検討等したいという方がいましたら、いつでも歡
迎いたします。

以上、簡単ではありますが、当院の CT 検査室の紹介を終わります。

最後まで読んでいただきありがとうございました。